

子守歌

春への憧れ

かすかな風の午後

さんさんと春の陽

ゆっくりと白いカーテン

ふと微笑む君の口元

水槽の透明な青は揺らぎ

鉢植えの花は窓外を向いて

小川は流れるともなく

おぼろげな寝台の色

めくれる詩集のページ

室内と外の風景のささやき合い

ひんやりとした掌が頬を包み

眠りの中へ誘う微風の午後

(1984.12.16)